

ISSN-0461-6898

名城法学

第66卷 第3号

片桐 善衛教授 退職記念号

名城大学法学会

2016

片桐 善衛教授 退職記念号



片桐 善衛 教授

前 号 目 次 (第 66 卷 第 1・2 合併号)

献呈の辞	i
論 説	
請願権の再検討	
—— イギリスにおける電子請願制度からの示唆 —— 今 井 良 幸	1
ヘルマン・ヘラーの憲法概念	栗 城 壽 夫
	25
参議院のありようを考える	
—— 若干の比較憲法的視点をふまえて ——	西 修
	65
ドイツ裁量論の歴史的展開	
—— ある理論史研究に即して ——	海老沢 俊 郎
	87
地方議会の自律権の展開	駒 林 良 則
	123
致死薬物注射をめぐる新しい動き	小早川 義 則
	151
オーストリアにおける配偶者および	
登録パートナー婚配偶者の寄与	松 倉 耕 作
	213
平等原則における不変性 (immutability)	植 木 淳
	249
近年の一票の較差に関する最高裁判決について	
.....	河 北 洋 介
	275

教育をめぐる権利と義務の再解釈： 多様な教育機会の確保に向けて	近 藤 敦	305
みなし譲渡所得に「担税力」はあるのか	伊 川 正 樹	329
合衆国訟務長官と選挙区割り関連訴訟	北 見 宏 介	357
地方議会の議決事項についての一考察	庄 村 勇 人	377
憲法適合性の概念と集団的自衛権 —— 比較法的検討を交えて ——	渡 邊 互	403
横領罪における不法領得の意思とその内容	伊 藤 亮 吉	431
条約法における強行規範概念の象徴性 —— 条約法条約第 53 条および 「対世的義務 (obligations erga omnes)」との関連で ——	佐 藤 一 義	483
公序違反による外国法の適用排除について —— 排除対象に関する若干の考察 ——	佐 藤 文 彦	509
網中 政機教授 略歴・著作目録		537

献 呈 の 辞

われわれが敬愛する片桐善衛先生が、平成 28 (2016) 年 3 月 31 日をもって、名城大学を定年退職されました。ここに、名城法学を退職記念号として片桐先生に献呈することによって、名城大学、そして法学部に対する先生の多大なるご貢献に対して、感謝の念を表したく存じます。

片桐善衛先生は、平成 16 (2004) 年に、法学部応用実務法学科に民法担当の教授として着任され、教壇に立たれました。また同年から大学院法学研究科でも民法学の講義を担当されました。本学での 11 年間のご在職中、気さくなご性格から学生との距離も近く、講義やゼミでは毎年多くの履修者を集めておられました。また、本学では応用実務法学科長の役職を務められました。

片桐先生は、民法の中でも区分所有法、マンション法を一貫した研究分野とされています。片桐理論の中心的内容は、伝統的な公法・私法とは異なる「共法 (ともほう)」という領域を提唱するものであり、マンションの建替えやまちづくりの問題解決には、公・私・共という三つの領域でのチェック過程を経て、相互協力関係を目指すべきというものです。本学在職中の平成 23 (2011) 年 9 月から 1 年間、国内研究員として内地留学をされ、その成果は、平成 27 (2015) 年 3 月に、『区分所有法の探究』(成文堂) を名城法学会選書第 12 号として上梓されました。同書によれば、共法論とまちづくりへの架橋論は、マンション建替え一元論への近視眼的捉え方に対し、視点の転換を提起するものであり (はしがき iii)、先生の研究成果は、わが国のマンション法分野の発展に寄与するものとなっています。そのような研究の基本姿勢は、多数説を疑い、あえて挑戦を試みる片桐先生の反骨心をまさに表しているものといえるでしょう。

親しみやすい雰囲気の中にも、筋を通すべき事柄に対しては厳しく指摘し、常識を疑う片桐先生の姿は、われわれの脳裏に焼き付いています。また、名城大学でのご勤務は、ご自宅のある滋賀県長浜市を週に数日離れて

の生活となりましたが、ときおり奥様も大学にお越しになり、夫婦仲睦まじい姿をみせていただきました。普段はみせない奥様への感謝の気持ちは、上記のご著書のあとがき（「筆を擱くにあたって」）に記された片桐先生のお言葉に集約されていると思います。

片桐善衛先生には、法学部教職員一同、今後ともご高誼を賜りたく、あわせて、率直なご高見を承りたく存じます。先生の、これからのご健勝と、ますますのご発展を祈念申し上げます。

平成 28 年 11 月

名城大学法学会 会長 / 法学部長

伊 川 正 樹

献呈の辞	iii
論 説	
金銭債権の相続と遺産分割との関係についての一考察 —— 近時の最高裁判例を踏まえて ——	小 池 邦 吉 1
法定監督義務者責任の立法史的考察 —— 明治初期の民法草案および旧民法を対象に ——	錢 偉 栄 25
債権法改正後の代位訴訟・取消訴訟における参加のあり方	高 須 順 一 55
誤振込によって成立した預金に関するいくつかの問題	西 牧 正 義 85
遅延利息に重利の規定の適用はあるか —— ドイツ法の議論を参考として ——	益 井 公 司 109
無権代理と相続に関する一考察 —— 資格併存貫徹説の理論的妥当性 ——	松 田 佳 久 123
ファウルボールによる観客の受傷事故と球場管理者等の責任	宮 本 健 蔵 155
「意思能力」を考える —— 「意思能力」を定義する場合の留意点を中心として ——	村 田 彰 183

権利と公共の福祉

—— 民法1条1項の序論的研究 —— 山 里 盛 文 229

ファイナンス・リースにおける目的物の担保的性質について

..... 山 下 良 255

定型約款に関する債権法改正の考察 山 田 創 一 273

コモンロー上のインタープリター 川 元 主 税 295

米国におけるプロキシ・アクセス元年 吉 行 幾 真 321

空港民営化とPFI導入の政治過程

—— 新東京国際空港公団民営化と関西・伊丹両空港の

統合問題を事例として —— 高 松 淳 也 345

片桐 善衛教授 略歴・著作目録 381

評 議 員 (五十音順)

崇義作理輔彦子太光司武二弘真互

美

博大乃亮智恵俊 勝 雄忠幾

田上口川井田本嶋 澤沢本行邊

井 谷

仁野野長平前松松矢柳柳柳山吉渡

會計委員

庶務委員
編集委員

庶務委員

一樹吉淳記佳美税介三敦義彦郎也昭

太

愼正亮 雅克勝主宏裕 一文林淳

木川藤木本藤原元見村藤藤藤浦松口

淺伊伊植榎加川川北木近佐佐杉高谷

編集委員
會長
會監

庶務委員

會計委員
庶務委員

執筆者		(掲載順)
小池	邦吉	法政大学法務研究科非常勤講師、弁護士
銭	偉栄	松山大学法学部教授
高	須順	法政大学法務研究科教授、弁護士
西	牧正義	岩手大学人文社会科学部准教授
益	井公司	日本大学法学部教授
松	田佳久	創価大学法学部教授
宮	本健蔵	法政大学法学部教授
村	田彰	流通経済大学法学部教授
山	里盛文	明治学院大学法科大学院嘱託研究員
山	下良	沖縄国際大学法学部准教授
山	田創一	専修大学法務研究科教授
川	元主税	名城大学法学部准教授
吉	行幾真	名城大学法学部教授
高	松淳也	名城大学法学部准教授

名城法学 第66巻 第3号

平成 28 年 12 月 11 日印刷

平成 28 年 12 月 17 日発行

〒468 - 8502

名古屋市天白区塩釜口一丁目 501 番地

編集兼 名城大学法学会
 発行者 代表者 伊川正樹

〒466 - 0025

名古屋市昭和区下構町 2 - 22

印刷所 株式会社 一誠社

MEIJO HOGAKU

MEIJO LAW REVIEW

Vol. 66 No. 3 2016

Published Quarterly by
The Meijo University
Law Association